

【公開保育の評価・自己評価】

法人・施設名称	園長名	作成日
社会福祉法人 都城市社会福祉協 議会 おおむたこども園	山元 紀代美	2023年10月20日

評価の記録（まとめ）

	評価者 A	評価者 B	評価者 C
良い点	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、園児の写真を保護者へ提供するなど、保育の発信・サービスを工夫している。 園の方針・保育者間の方向性（育児行為・担当制など）が分かりやすく示され、保育者がゆったりと子どもたちと関わる姿が見られる。 子どもの目線に合わせた掲示や展示となっており、とても整理整頓がされていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自ら遊びを選択し、十分に活動できる時間を確保している点 育児担当制によって、未満児をしっかりと見守り、以上児以降の成長を見据えて保育実践を行っている点 保育者が見守り、大きな声を出すことなく、子どもたちとのコミュニケーションを図っている点 給食の配膳時、子どもが食べる量を選択できるようにしている点 	<ul style="list-style-type: none"> 園庭も室内もコーナー遊びの内容が充実しており、子どもたちの好奇心をかきたてられるような環境作りをされていました。 食事や生活面においても、子どもの年齢や発達、特性に合わせた援助や配慮をされており、子どもの安心、安全がしっかりと守られていました。 先生方が、子どもたちひとりひとりの自主性を尊重し、丁寧に関わっておられる姿が大変印象的でした。
改善点、及び更に期待する点	<ul style="list-style-type: none"> 職員さんにあまり笑顔が見られなかったのが少し気になりました。 保育方針と保育方法がしっかりしている事は、統一感がありますが、保育者も一人の人なので淋しく感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育活動をルーティン化することにより、子どもの成長や主体性を育む利点はある。一方で、ルーティン化から脱却する際、保育者に大きな労力を要することが予想される。変化のある保育実践に向けて今後期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験（飛行機、電車に乗るなど）する機会の少ない子へ、写真や動画を使った 視覚支援を考えておられるとの事ですが、今後どのようなアプローチをされるのか楽しみです。
評価を受けて			